



NO.43 宇都宮市の特別支援教育を振り返って Part 3

— 「宇都宮市特別支援教育基本計画 ～うつのみや子どもかがやきプラン～」の評価 —

前号に引き続き、「宇都宮市特別支援教育基本計画～うつのみや子どもかがやきプラン～」(平成19年7月)の基本方向「3 教職員の専門性の向上」における成果と課題について整理します。

【基本的取組】

- ① 教職員研修の充実
 - ・ 特別支援教育コーディネータースキルアップ研修の実施
 - ・ 特別支援教育推進者研修の実施
 - ・ 基本研修への特別支援教育講座の位置づけ
 - ・ 特別支援学級等担当者対象の専門研修の実施
- ② 校内研修・個別の指導計画作成等への支援
 - ・ 校内研修等への派遣(指導主事・教科指導員・学校生活適応支援相談員)
 - ・ 子ども発達センターとの連携による「個別の支援計画」の様式作成
 - ・ 「個別の支援計画活用の手引き」の作成・配付、研修会での活用
- ③ 特別支援学級等担当者の人材育成の検討
 - ・ 特別支援学級等新任担当者研修の実施
 - ・ 教員マイスター制度の実施
 - ・ 人事異動の在り方についての検討



【特別支援教育推進に係る

教職員へのアンケート調査】より

- ① 教育センターにおける基本研修や専門研修の中で特別支援教育の講座は、学校で特別支援教育を進めていく上で内容・分量等適切である。

平成19年度 16.8%
⇒ 平成25年度 90.4%
- ② 校内研修や事例研究会を実施することにより、一人ひとりの困難さや思いを正しく理解し、教育的ニーズに応じた指導方法を工夫するようになった。

平成19年度 43.0%
⇒ 平成25年度 93.5%



【評価】○：成果 ●：課題

- 特別支援教育に係る研修について、教職員の職務や役割に応じた研修を実施している。
- 教職員は、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導方法を工夫している。
- 特別な支援を必要とする児童生徒への指導について、学校や教職員の対応力をより一層向上させる必要がある。
- 特別支援学級在籍児童生徒や、特別支援学校の障がいの程度に該当する児童生徒など多様な教育的ニーズへの対応が迫られている。
- 特別支援学級等の新担任者や経験年数の少ない担当者が多く、早急な育成が必要である。

